

様式第3号（第13条関係）

会議録

会議の名称	令和7年度 第1回朝霞第三中学校学校運営協議会	
開催日時	令和7年4月16日（水） 午前10時から午前11時30分まで	
開催場所	朝霞市朝霞第三中学校 図書室	
出席者及び欠席者 の職・氏名	<p>出席者 8名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・白鳥 成章 ・關野 武男 ・金子 雅美 ・後藤 順一 ・正野 寛樹 ・中村 菜々子 ・渡辺 聰 ・野口 邦彦 <p>欠席者 なし</p> <p>司会・記録：犬木 勝（教頭）</p>	
議題	<p>(1) 令和7年度学校経営の構想及び方針について (2) 令和7年度学校行事計画について (3) その他</p>	
会議資料	<p>(1) 第1回学校運営協議会次第 (2) 地域と共にある学校づくりを目指して</p>	
会議録の作成方針	<input type="checkbox"/> 電磁的記録から文書に書き起こした全文記録	
	<input checked="" type="checkbox"/> 電磁的記録から文書に書き起こした要点記録	
	<input type="checkbox"/> 要点記録	
	<input type="checkbox"/> 電磁的記録での保管（保存年限 年）	
	電磁的記録から文書に書き起こした場合の当該電磁的記録の保存期間	<input type="checkbox"/> 会議録の確認後消去 <input type="checkbox"/> 会議録の確認後 か月
会議録の確認方法 司会・記録 による確認		
傍聴者の数	0人	
その他の必要事項		

審議内容（発言者、発言内容、審議経過、結論等）

- 1 開会 委員長あいさつ
 - 2 校長あいさつ
 - ・新年度職員について
 - ・学校運営協議会の意義について…委員に評価してもらうのではなく、意見をも
らい一緒に学校づくりを行う。校長の方針を共有、承認していただく。教育委
員会に意見を述べることができる。熟議の必要性について。
 - 3 任命上の交付
 - 4 自己紹介
 - 5 学校運営協議会長、副会長の選任
会長：白鳥成章 様 副会長：關野武男 様
 - 6 協議
 - (1) 令和7年度の学校経営の構想及び方針について。
●校長より
 - ・社会の変化に伴う学校教育における未来づくりについて。
 - ・授業の充実による人づくり。生徒にとって教員は一番の教育環境。
 - ・学校経営理念「育つ」ということに関する5つのカンについて。
 - ・生徒、教師、保護者、地域がともに「育つ」ことを大切に。
 - ・教職員の働き方改革に関する、健康管理、セルフマネジメントについて。
 - ・学校目標、目指す学校像について。
 - ・今年度の重点目標に関するコミュニティスクールの充実について。
 - ・学校評価に関する教員、生徒と保護者の評価のずれから、学校と保護者の方
向性の共有のための学びの機会を設けることについて。
 - ・事故防止について。
- 委員C：①目指す生徒像「誰もが、みんなが」には不登校生徒も入ると思うが、具体的な方策はあるか。②また学力向上について、数学、英語などの生徒の習
熟度別などの取り入れはあるのか。学力の差は他の学校もあるのか。③
インクルーシブ教育の推進についてはどうか。
- 校長：③個別での学びと交流学習での学びを保護者の希望をいれて充実させていく
が最善は何かの見極めは大切にしていきたい。①不登校の理由が多様化して
いる。教職員には本校の生徒であるという意識を持たせてほしいということ
を言っている。学校に来ることだけがゴールだけではない。外とつながれる
力をつけてあげることが必要。子供に応じた対応をしていく。
②学力は千差万別で様々な学力の生徒が混在する中で刺激を受けながら成
長するところもある。場面によって習熟度を取り入れていく。
- 委員C：中学校卒業後に社会とつながる素地を作っていただきたい。
- 委員G：10人に1人が通信制高校の現状がある。多様な進路があることを生徒、保
護者に多様なアプローチをしていくことが必要。
- 校長：登校できないがSNSで友達とつながっている生徒もあり、以前より孤立感
が減少している。
- 委員F：みんなで学ぶ家庭教育学習について、ICTの活用について説明後に授業参
観できるとよいのではないか。

委員長：令和7年度学校経営方針について承認でよいか。

委員一同：承認

(2) 令和7年度学校行事計画について

●教頭より年間行事計画について説明

委員E：中間テストを実施しなくても全部活、活動停止期間は設けるのか。またその意義は何か。

校長：生徒が学習を見直し、リズムを整えることができるようとする。また教職員が生徒一人一人と向き合って面談したり、年度初めの学級づくりを見直したりする機会とする。

(3) その他

●校長より学校研究主題について

- ・令和7、8年度朝霞市研究指定学校について。学校の存在意義である協働的な学びを充実させるべき研究していく。
- ・研究主題の内容について共有する。
- ・委員の皆様に「一人一人が輝く」ということについてご意見いただきたい。

委員C：協働的な学びとは例えばどういうことか。

校長：他社と関わりながら行う学習である。

【熟議】

「一人一人が輝くとはどういうことか」

- ・栄光や成功だけが輝くということではないことを認識するべきである。
- ・自分の伸びや成長など時間軸で考えることが重要である。
- ・短所を修正するのではなく長所を伸ばすことが大切。
- ・プロセスが大切であることを教員にはいつも伝えてほしい。
- ・三中はプロセスを重視する学校であってほしい。
- ・体育大会についても個人の輝きを

7 連絡

●事務局より

- ・令和7年度第2回学校運営協議会の開催について7月14日14時からとする。

8 閉会のことば 副委員長より